

岩田鳴球

（公伝）

俳人。明治七年七月二十日石川縣生れ、昭和十一年

九月（二十一日歿（二八七歳）一九三六）。舊姓上田、本名久太郎。別號メ〇、

獺麿、球、琥珀、琥珀河、道樂、鳴丸大夫等。東京高等商業學校卒。

二井物産入社、前後十餘年臺灣滞在。大正七年退社して大本教に入信

機關紙編輯長等も活動も、十一年大本教事件で檢舉。俳句は明治二十

一年同誌と俳誌『むし籠』を創刊、二十五年『マラレ』選者、臺灣の

『相思樹』、『吐光』、『一品紅』を經て、大正六年『新緑』同人。

著書『琥珀のかけら』（中野ニ充編、昭和十二年七月十一日）のミヅ

會『のミヅ』叢書（一）等。